

別記第2号様式（第3条関係）

視察概要書

1 視察日時 令和6年10月25日（金）
午前10時00分～午前11時00分

2 視察先 こども本の森中之島
（住所：大阪府大阪市北区
中之島1丁目1-28）



3 調査事項 こども本の森中之島の施設見学

4 視察先概要

(1) 説明者：こども本の森中之島 館長 伊藤 真由美 氏

(2) 視察先概要：こども達に多様な本を手にとってもらい、
創造力や好奇心を育ませる文化施設



◀こども本の森中の島の外観
大阪中心部を流れる堂島川と
土佐堀川に挟まれた
水と緑豊かな中の島に位置する

5 視察（見学）の目的

対象年齢にしばられず、子ども達に多様な本を手にとってもらい、創造力や好奇心を育ませる文化施設について見学する。

6 施設について

ア 施設の概要

「こども本の森 中之島」は、建築家の安藤忠雄さんが設計しており、子どもたちに多様な本を手にとってもらい、無限の創造力や好奇心を育ててほしいという思いで建築・寄贈され、2020年7月開館した文化施設である。

館内は床から天井まで本棚で埋め尽くされており、絵本を中心に幼年童話、児童文学、小説、各分野の図鑑、自然科学書、芸術書など様々なジャンルの本を、ジャンル別に並べるのではなく、子どもたちの日常生活や好奇心に寄り添い、多種多様な本と出会うことができるよう、独自に編まれたテーマに分けて配架されている。

高い場所や天井近くにあるような本は、下の段にもあり容易に手に取ることができるようにするなど、配架も工夫されている。



▲各テーマごとに本が並べられている

◀1階から3階まで本棚が設置されている



図書館ではないため、貸本はしていないが、来館者は、どの場所でも座り込んで閲覧することが可能。

天気の良い日は、中之島公園に持ち出して公園で読むこともできる。

空間すべてが子どものための閲覧室であり、気になる本が見つかったら、好きな場所で読み始めて構わないとのこと。

図書館では、子どもたちは、“静かにすること”や“席に座って本を読むこと”を求められるが、文化施設である「こども本の森 中之島」では、子どもたちは、施設の空間を縦横無尽に自由に行き来し、ひとり静かに読書する子がいたり、親が子に読み聞かせを行っていたり、多様な形で本を楽しむ光景が見られる。

館の中央にある広がる大階段では読み聞かせの会などのイベントが定期的に開催される



イ 施設の利用方法

入館方法：事前予約又は当日先着入場枠の2つの方法での入館

入館時間帯：午前・午後2回ずつ毎回入れ替え制（1回につき90分）

定員：各回定員100名

ウ 施設の運営について

「こども本の森 中之島」と同様の施設はほかにも、「こども本の森 神戸」、「こども本の森 遠野」、「こども本の森 熊本」があるが、運営形態はそれぞれ異なる。

「こども本の森 中之島」の運営は、大阪市からの補助金等はなく、指定管理で運営されており、指定管理料等は、全て寄附・寄贈によって賄われている。

広く賛同者を募り寄附を呼びかけ、大阪市が基金を作って、寄附・寄贈の管理をされている。

7 終わりに

デジタル化が進み、本離れが進む昨今、読書スペースや本の並べ方の工夫などにより、自由な雰囲気の中、子ども達がわくわくしながら本に触れ合うことができ、本を読みたくなるような開放的で素晴らしい施設だった。



▲施設見学の終わりに、伊藤館長と意見交換を行っている様子